

2008 年度／通信教育部自己点検・評価報告書

【1】通信教育部教務委員会の設置

通信教育課程の「各学部・共通科目のカリキュラム」「担当教員の配置および「学士の質の向上」等を恒常的に検討するために、2008 年 9 月「通信教育部教務委員会」を設置した。2008 年度から同委員会を中心に、まずカリキュラムの検討を開始した。

【2】カリキュラム改定の検討開始

通学課程の各学部のカリキュラム改定に対応して、通信教育の特性を活かし、かつその制約にも配慮しつつ、2010 年度以降の実施を目指して、全面的にカリキュラム改定を行うこととなった。

具体的には経済学部・法学部・教育学部の専門科目および共通科目ごとに抜本的な検討を開始し、2008 年度中に改定原案を作成予定である。

【3】eスクーリングの拡充と発展計画

通信教育部では、スクーリングのメディア化を積極的に推進している。すなわち、eスクーリング委員会およびコンテンツ制作室を中心に、通信教育の特性を活かし eスクーリング科目の拡充を推進している。

まず eスクーリング(インターネット)に関して、既に「情報システム概論」、「暮らしの中の法」、「中国語Ⅰ」、「中国語Ⅱ」を実施している。2008 年度は「自立学習入門」を新たに開講した。2009 年度にはさらに「心理学」を新たに開講予定である。

つぎに eスクーリング(リアルタイム)に関しても、2008 年度より「人間教育論」を新たに開講し、本学での授業を大阪・名古屋の地方スクーリング会場に同時中継で配信している。一方的な中継にとどまらず、地方会場の教員と学生間の質疑応答も行った。初めての試みであることから、アンケートを実施して、その効果も調査したが、概ね好評であったことから、2008 年度内に「教育学概論」も実施予定である。

上記開講科目の技術的・内容的な充実および新規開講科目の増設に加えて、今後のさらなる eスクーリングの発展計画として、インターネット・リアルタイムの実現可能性の検討を行なっていく予定である。

さらに、前述のとおり、同委員会では教員配置や教育の質的向上などについて、精力的に検討、改善を行っていく。